医療の質改善と行動経済学

例：Gamification -ゲーム要素を取り入れた リハビリ用アプリ- パイロット研究

氏名　水野　篤／鈴木　隆宏

所属　聖路加国際病院　医療の質管理室／循環器内科

役職　室長／医員

URL　https://researchmap.jp/atmizu

https://mizuno-lab.jp/

研究分野：循環器内科学，行動経済学，公衆衛生学

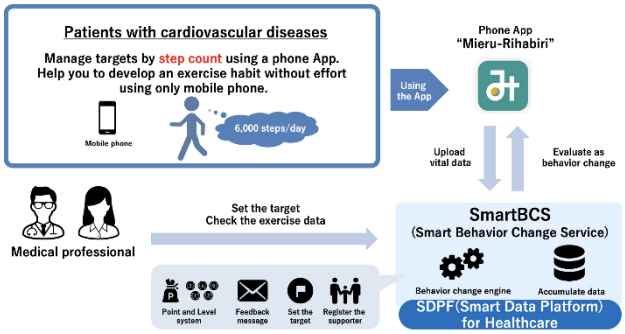
循環器学におけるデジタルヘルスを活用した介入研究

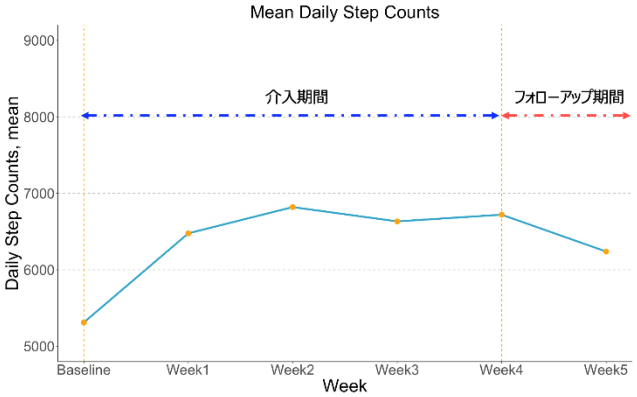
◆研究シーズの概要◆

近年、医療の質改善に関しての社会的関心は高いですが、聖路加国際病院・国際大学では日本で先駆的に医療の質改善活動に従事してきました。さらに我々の施設では、実装科学・行動経済学のコンセプトに基づき病院での１００を超える医療の質評価指標を改善に取り組んでいます。

また、企業と協働しての臨床研究も数多く実践しており、約200の査読付きの論文が公開されています。 AMED: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構ヘルスケアサービスの代表もしており、デジタルヘルスをはじめとした最新のテクノロジーの活用も実践しております。

今回は、心血管疾患（Cardiovascular disease; CVD）の予防における歩数の増強のための共同研究を紹介します。NTTコミュニケーションズ株式会社と協働し、スマートフォンによる自動歩数取得と行動経済学モデルをGamificationに取り入れたアプリケーション開発になります。現在、ランダム化比較試験にて有効性および理論の証明を行っております。





◆共同研究・受託研究のご提案◆

- ■行動経済学的アプローチを活用した前向き介入研究・ランダム化比較試験
- ■PHR（personal health record）を含む医療データを活用した疾患発症予想研究
- ■医療の質改善に対する、実装科学を用いた新しいアプローチ開発
- ■各種コンサルティング

◆アピールポイント◆

- ■　米国で実践されている最新の行動経済学の知見を導入できます
- ■　種々のデジタルヘルスにかかわる、モダリティを用いた開発が可能
- ■　学会を含めた、各種意思決定者とのスムーズな連携